

〔資 料〕

「海外実業練習生終了者氏名」および
「海外実業練習生採用規定」
（農商務省商工局『海外実業練習生一覧』
〈大正2年12月1日現在〉所収）

木 山 実

「海外実業練習生」制度とは、いわゆる日清戦後経営の一環として産業発展に資する人材を育成する目的で、農商務省が海外の生産や商業などさまざまな事業に実地に研修する練習生に渡航費や現地での研修費・滞在費などの一部を補助金として支給した制度である。この制度の構想自体は、日清戦争の前から存在したが、制度の創設が具体化するの日は清戦後である。本制度は明治29（1896）年に創設され、昭和3（1928）年まで約30年間継続され、総計857名の実業練習生が海外に派遣されたとされる¹⁾。日本の自動車産業の源流ともいいうる快進社の設立者橋本増治郎、冷凍食品事業の草分け的存在である葛原猪平、現在の代表的な種苗会社サカタのタネ創業者坂田武雄、食品メーカーのキュービー創業者中島董一郎、ショートショート作家・星新一の父で星製菓および星薬科大学（源流は星製菓商業学校）の創設者でもある星一、また美術界でも横山大観や高村光太郎などは、この制度で実業練習生に採用された人材の代表例である。

ここに紹介する史料は、関西学院大学図書館所蔵の農商務省商工局『海外実業練習生一覧』（大正2年12月1日現在）という冊子の一部である。その

1) 松村敏「刊行にあたって」『農商務省商工局臨時報告』第1巻（ゆまに書房、2002年）の巻頭部。

『海外実業練習生一覧』（大正2年12月1日現在）は、以下の項目で構成されている。

- ①海外実業練習生員数表
- ②海外実業練習生氏名
- ③海外実業練習生終了者員数表
- ④海外実業練習生終了者氏名
- ⑤海外実業視察員視察地別一覧
- ⑥海外実業練習生採用規定

①～⑤は冊子として綴じられたものであるが、④にいちばん大きな分量が割かれている。また⑥は一枚物の印刷物として、冊子に挟み込まれているものである。これら①～⑥のうち、本稿では④と⑥を紹介する。

冊子『海外実業練習生一覧』は、大正3年版から大正13年版までは、大正12年を除いてインターネット（国立国会図書館デジタルコレクション）でも閲覧できる。本稿でとり上げる大正2年版は、インターネットで閲覧可能なものの中でも一番古い大正3年版の前年版である。大正2年版と3年版の「海外実業練習生終了者氏名」の欄には、補助費の支給期間、補助の有無、冊子編集時の現職業が記されているという点で、大正4年版以降の版と大きく異なる。インターネットでも閲覧可能な大正3年版にもこれらの情報は記されているが、この大正2年版には「海外実業練習生採用規程」と題する一枚の印刷物（上記の⑥）が挟まれているのが大きな特徴である。

④「海外実業練習生終了者氏名」については、原史料では、練習地（派遣先の国名と都市名）、「練習科目」、「現職業」（大正2年版冊子の編集時点での職業）、「補助費支給年月」、補助の有無（原史料では補助がない者には「任免」と書かれている）、「氏名」が書かれているが、本稿では便宜のため表の左端に通し番号をつけ、また各人の練習生の学歴を判明する限りで一番右に追記しておいた。その学歴欄からわかるように、学歴不明者もかなりいるが、表に載っている者（すなわちそれは明治期に実業練習生に採用された者ともいいうる）のうち学歴が判明する者を出身学校別でみると、東京高等

工業学校（東京高工）の卒業生が65人と圧倒的に多く（同校附属職工徒弟学校卒業生1名を除く）、それに次いで東京帝国大学（東京帝大）、東京美術学校、水産講習所（水産伝習所含む）、東京高等商業学校（東京高商）などが続く。これらはいずれも高等教育機関である。これらの大学・学校については、各校の「学校一覧」類がインターネット（国立国会図書館デジタルコレクション）で閲覧可能であり、その卒業生の欄と実業練習生終了者氏名を突き合わせることで、練習生の学歴をある程度明らかにすることができる。また東京美術学校卒業生については、国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可能な学校一覧でも確認できるが、田島奈都子氏による論考「農商務省海外実業練習生とわが国の美術界」（『美術フォーラム21』VOL.9、平成26年）が実業練習生として海外渡航した後のキャリアについても詳しいので、この論考に依拠した部分もある。

中等教育機関である横浜商業学校、静岡商業学校、京都商業学校なども比較的多くの卒業生を実業練習生として送り出しているが、静岡商業や京都商業については、それらの「学校一覧」がごく一部の年のものが国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧できる。そのようにインターネットで閲覧可能な学校についてはそれらに依拠した。「学校一覧」類以外にも、『学会会員氏名録』（学会事務所、各年版）、『現代紳士録：出身学校別』（日本秘密探偵社、大正15年）、『人事興信録』（人事興信所、各年版）などもインターネット（国立国会図書館デジタルコレクション）で閲覧可能であり、それらに依拠したものもある。

これら以外については、各地の公立図書館や諸大学に所蔵されている「学校一覧」や同窓会名簿類で閲覧できたものに依拠した。古書店を通じて入手した名簿類に依拠したものもある。各人の学歴がどの史料に拠って明らかになったのかを判明分全員について本稿で注記するのは煩瑣に過ぎるので断念した。ただ該当人物に関する評伝、論考や自伝が刊行されていて、それらに依拠した場合には、その参考文献を表の下に注記しておいた。この注記がないものについては、上述したような史料に依拠したと考えていただきたい。

なお東京高工、東京高商、東京帝大、大阪高商は改称前には東京工業学校、高等商業学校、帝国大学、大阪商業学校など別の呼称があったが、それらは改称後の略称である東京高工、東京高商、東京帝大、大阪高商で記してある。

ここで紹介する史料を用いた考察については、別稿を予定している。

海外実業練習生終了者氏名（大正2年12月1日現在）

(1) 亜細亞洲				現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
練習地	(都市名)	練習科目						
1 清国	北京	絹織物業		東京ニ於テ綿毛織染業、銀鑄業、輸出入貿易業ニ従事	明治35年1月～37年12月		鶴岡永太郎	東京帝大・英法（旧規定）・明35年7月卒
2 同	同	雜貨業		死亡	明治37年7月～38年3月		保科正作	
3 同	上海	水産業		東京、大日本塩業株式会社常務取締役	明治29年11月～32年2月		宗像寅三	
4 同	同	雜貨業			明治32年7月～35年3月		柴田麟次郎	南京同文書院入学（明33） 水産伝習所・漁務科・明30年3月卒
5 同	同	水産業			明治32年7月～35年6月		平岡小太郎	
6 同	同	雜貨商業		死亡	明治34年7月～35年8月		中村兼善	
7 同	同	雜貨業		在天津松昌洋行支配人心得	明治33年5月～36年4月		稲石謙蔵	
8 同	同	同			明治34年6月～37年5月	無補助	山田彦松	
9 同	同	綿布商業		滋賀県ニ於テ商業ニ従事	明治34年9月～37年8月		栗林孝太郎	
10 同	同	織物業			明治37年11月～38年3月		堀越允介	東亜同文書院・商務科・明37年4月卒（1期生） 水産講習所・製造科・明33年4月卒
11 同	同	水産貿易業		死亡	明治37年5月～40年7月	無補助	室伏俊五郎	
12 同	同	綿糸及棉花業		在上海ウアツドマン氏海損事務ニ就職	明治36年7月～39年6月		草場茂一 （旧姓：志戸）	大阪高商・本科・明31年卒
13 同	同	銀行業			明治38年2月～39年8月		大平賢作 （旧姓：星）	東京高商・専攻部・明37年卒
14 同	同	商業			明治37年4月～40年4月		安江稻次郎	東京専門学校（早大）・邦語法律科・明22年卒
15 同	同	陶磁器業		名古屋市立熱田実業補習学校訓導	明治38年2月～41年2月		石黒秀久	
16 同	同	図案		東京ニ於テ图案業自営	明治40年2月～41年7月		毛利教定	東京美術学校・日本画科・明38年卒
17 同	同	雜貨業		日本橋区大東信託株式会社常務取締役	明治40年7月～42年12月	無補助	田辺都次郎	
18 同	同	雜貨商業			明治42年10月～大正元年10月		山本 宏	東京帝大・文科・明32年卒
19 同	同	棉花綿糸及雜穀貿易業		在上海半田船行支店員	明治42年10月～大正元年10月		村山 毅	
20 同	漢口	雜貨業		横浜巡航汽船株式会社取締役 鋁山業自営	明治35年12月～37年6月		平賀深造	慶應義塾・明23年11月入学、のち中退か
21 同	同	綿糸綿布業			明治35年1月～37年12月		江川繁一	

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
22 同	同	雑貨業		明治37年5月～40年5月		澤村幸夫	熊本商業(卒年不明)卒
23 同	同	織物業	在漢口黃泰洋行主	明治37年8月～40年7月		小川愛二郎	東京専門学校(早大)・ 邦語政治科・明33卒
24 同	同	商業		明治37年12月～40年12月		木村元雄	独逸学園協會学校・専修科・ 明22卒
25 同	同	海陸產物貿易業	在上海、日信紗廠主任	明治39年3月～42年3月	無補助	竹俣豊松	
26 同	同	商業	農商務省海外視察補託員	明治41年11月～44年10月		太田外郎雄	東亜同文書院・商務科・ 明41年6月卒(5期生)
27 同	同	時計販売業	在上海、福寿洋行店員	明治41年11月～44年11月		窪田栄次郎	沼津商業・明35卒
28 同	天津	綿糸及綿布商業	大連ニ於テ布教ニ従事	明治34年12月～35年8月		棚谷好助	東京外語・清語・明34年 7月卒
29 同	同	雑貨商業	死亡	明治34年7月～35年7月		大井政次郎	慶應義塾・明22年5月入 学、27年7月別科卒
30 同	同	綿糸及綿布商業		明治34年7月～37年3月		立川次郎介	
31 同	同	雑貨業	在支那奉天、瀋陽馬車鉄路公司ニ就職	明治37年7月～40年6月		坂田長平	東亜同文書院・商務科・ 明37年4月卒(1期生)
32 同	同	陶磁器業		明治37年12月～40年12月	無補助	林連一郎	
33 同	同	羊毛業	大連市白川洋行店員	明治38年8月～41年4月	無補助	今井行平	東京高商・明38退学、40 卒
34 同	同	綿糸布業	支那天津在留中	明治43年10月～大正2年10月		板元録次郎	東亜同文書院・商務科・ 明41年6月卒(5期生)
35 同	同	雑貨商業	支那天津在留中	明治43年10月～大正2年10月		出雲彌助	台湾協會学校・明治38卒 (後の拓殖大)
36 同	牛莊	同	岡山市加島銀行支店員	明治32年6月～33年3月		常念保平	第二高等學校中退か(明 29頃)
37 同	同	同	死亡	明治32年7月～33年12月		橋本龍吉	
38 同	同	同		明治32年7月～33年9月		安永東之助	南京同文書院入學(明33)
39 同	同	同	於牛莊鹽油鹽造業自営	明治32年7月～35年12月		田村忠一	
40 同	同	同	死亡	明治32年6月～35年12月		莊村秀雄	
41 同	同	織物毛皮業	在京都	明治35年6月～36年4月		神村源之助	慶應義塾・明29年5月入 学、のち中退か
42 同	同	水産業		明治33年12月～36年5月		竹内徳太郎	水産伝習所・明治27年3 月卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
43	同	商業	在天津結城洋行店員	明治38年10月～40年11月		瀨田甚四郎	東亜同文書院・商務科・明38年4月卒(2期生)
44	同	工業並薬劑原料	大阪実業新聞主筆	明治39年4月～42年4月		米谷椿次郎	
45	同	農産物貿易業	在支那	明治43年10月～大正2年10月		石川 亦	東亜同文書院・商務科・明42年6月卒(7期生)
46	同	毛皮業		明治35年6月～37年2月		大庭景秋	夜学で英語・ロシア語を学ぶ
47	同	大豆商業	国民新聞記者	明治43年10月～大正2年9月		三塚良平	
48	同	雜貨業		明治34年7月～35年11月		濱田純一	
49	同	水産業	在鉄嶺滿洲製粉株式会社常務取締役	明治34年8月～38年3月		中井國太郎	水産講習所・製造科・明34年4月卒
50	同	雜貨業		明治35年10月～38年9月		松永祐三	東京高商・明35卒
51	同	同	在露領ニコラエウスク	明治38年8月～39年6月		中村佐八	東亜同文書院・商務科・明38年4月卒(2期生)
52	同	絹織物商業	支那膠州湾在留中	明治40年8月～43年7月		坂根榮吉	
53	同	絹織物業		明治34年9月～38年3月		川津 弘	横浜商業・12期生(明治33年度卒)
54	同	同	福井市ニ於テ羽二重業自営	明治32年4月～32年11月		高島篤治	大阪高商・本科・明31卒
55	同	染色業		明治35年10月～38年10月		谷 環	
56	同	絹織物業	北京ニ於テ雜貨商業ニ従事	明治31年11月～36年3月		坂本菊吉	東京高工・工業教員養成所機械速成科(在学1年)明28年7月卒
57	同	蚕業		明治33年7月～36年6月		森木 長	東京蚕業講習所・明23年度卒
58	同	同		明治34年7月～36年7月		村田忠三郎	東京蚕業講習所・明25年度卒
59	同	製糸業	松本市ニ於テ製糸業自営	明治35年5月～38年12月	無補助	三浦貞江(旧姓:岡)	東京蚕業講習所・本科(第4回)明34年度卒
60	同	水産業	東京毎夕新聞社記者	明治35年6月～38年5月		大森松四郎	東京専門学校(早大)・邦語政治科・明29卒
61	同	獸皮及獸毛業	在漢口武林洋行員	明治36年8月～39年7月		國松和三郎	八幡商業・明34年4月卒
62	同	雜貨業		明治32年8月～35年12月		牛島正巳	分
63	同	絹織物業	於博多市織物業自営	明治34年12月～37年12月		三方勘三郎	大阪高商・本科・明31年卒／日本法律学校(日大)法科・明32卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
64	同	重慶	綿糸綿布業	在大阪、中央新聞社関西支局長	明治34年9月～36年4月	島田定知	
65	同	同	雜貨業	支那雲南府陸軍革鞆二傭聘中	明治32年12月～37年3月	石塚豊次郎	慶應義塾・明20年6月2日入学・卒年不詳
66	同	同	同	於重慶雜貨貿易二從事	明治36年11月～39年11月	石井綱雄	
67	同	福州	水産業	北海道、拓殖銀行二勤務	明治34年9月～37年2月	曾根藤郎	
68	同	広東	雜貨商業	東京ニ於テ花籃輪出業ニ従事	明治39年9月～41年7月	信岡實太	
69	同	同	香辛料及砂糖漬生薑落花生油製法	静岡県浜松商業會議所書記長	明治39年7月～42年3月	縣 壮吉	浜松商業・明38卒
70	同	齊々哈爾	雜貨商業	満州在留中	明治42年10月～45年3月	上田傳八	
71	同	釜山	雜貨業	農商務省顧託員	明治37年1月～39年2月	吉田虎雄	
72	英領香港	同	同	在広東孚泰洋行二勤務	明治32年7月～35年6月	杉山常喬	長崎商業・明31年3月卒
73	同	水産貿易業	農商務技手	明治33年6月～37年3月	小川清一	水産講習所・製造科・明32年4月卒	
74	同	海上運送業	大阪電気分銅株式会社技師長	明治40年1月～41年2月	小出錠雄	東京高工・機械科・明28年7月卒	
75	同	海産物商業	支那福州九一洋行主任	明治40年1月～43年1月	梶原良弘	沖縄県立第一中学・明36卒	
76	暹羅	蠶穀業	三井物産株式会社緬支店員	明治36年10月～37年8月	田中教太郎	東京高商・明治36卒	
77	同	同	雜貨業	明治34年9月～38年3月	肥田玄次郎	慶應義塾・高等科・明治31年4月卒	
78	同	同	糸物業	明治40年10月～42年4月	西堀忠吉		
79	英領緬甸	羽二重及雜貨業	大阪ニ於テ雜貨類直輸入業自営	明治38年8月～41年8月	久保彦二郎	慶應義塾・大学部理財科・明治36年4月卒	
80	英領印度	孟買	棉花紡績業	死亡	金平豊太郎	慶應義塾・正科・明治26年4月卒	
81	同	同	藍及羽二重業	横須賀ニ於テ商業二従事	明治36年8月～39年8月	松本菊治郎	横浜商業・12期生(明治33年度卒)
82	同	同	織物業	高島屋飯田合名会社横浜支店員	明治36年12月～39年3月	入江善三郎	京都商業・明27卒
83	同	同	棉花洋藍業	死亡	明治35年11月～35年12月	関 利夫	
84	同	同	絹織物貿易業	横浜、東亜貿易商会員	明治43年6月～大正5年6月	小林辨吉	横浜商業・20期生(明治41年度卒)
85	同	同	絹織物商業	明治44年11月～大正元年12月		酒卷省三	埼玉県立柏崎中学(現春日部高校)・明治40年3月卒

練習地	都市名	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
86 同	カルカッタ	絹織物業	死亡	明治37年10月～39年10月		西出芳治郎	
87 同	同	工芸図案		明治38年8月～41年5月	無補助	藤田良雄	東京美術学校・日本画科・明38卒
88 同	同	雑貨業	横浜野澤屋店員	明治39年3月～41年1月		長谷川豊吉	横浜商業・15期生(明36年度卒)
89 同	同	絹物貿易	大阪二於テ雑貨販賣業ニ従事	明治41年11月～43年1月		加島長次郎	横浜商業・16期生(明37年度卒)
90 英領海峡植民地	新嘉坡	雑貨業	在新嘉坡大和商會主	明治34年11月～38年3月		長野實義	日清貿易研究所(入学か)
91 同	同	売菓業	東京日本売菓株式会社 新嘉坡支店長	明治40年3月～41年7月	無補助	山崎茂樹	
92 同	同	織物貿易業	鹿児島高等農林学校講師 鹿児島市立商業学校講師	明治41年11月～大正2年5月		中野海蔵	
93 蘭領印度	爪哇	雑貨業		明治34年9月～37年8月		後藤貴一	東京高商・明33卒
94 同	同	製糖業		明治34年12月～38年3月		高橋實吉	
95 蘭領爪哇	スラバヤ	同	帝國製糖株式会社員	明治44年11月～大正2年4月		嶺崎申次	
96 同	同	絹綿織物商業	桐生織物販売組合常務理事	明治44年10月～大正2年9月		小松晋助	早稲田大・商科・明41卒
97 同	セレベス	絹物及雑貨商業	死亡	明治44年11月～45年4月		岩崎晋三 (再度任命のため)	横浜商業・中退(病氣のため)
98 同	ボルネオ、スマトラ、ジャバ、マジョウラ、ニユーギニア諸島	製糖業及雑貨貿易業	練習生再任期中	明治40年1月～43年1月	無補助	佐野 實	早稲田大・政治経済学科・明38卒
99 比律賓群島	マニラ	雑貨業	京都市第百銀行二號職	明治34年8月～34年10月		渡多野元治 (旧姓：厚見)	東京外語・西語・明33年7月卒
100 同	同	砂糖業	三井物産株式会社若松出張所員	明治34年8月～37年7月		加藤主計	東京帝大・政・明34中退
101 同	同	雑貨商業	在マニラ南洋スラームトロップ漁業会社 専務取締役	明治39年9月～44年8月		井原幸吉	横浜商業・14期生(明35年度卒)
102 露領重細亜	浦鹽斯德	雑貨業		明治32年7月～33年6月		内田良平	東京・東邦語学校入学 (明25年)ロシア語を学ぶ
103 同	同	製茶貿易業	熊本県茶業組合聯合會議所副会頭	明治33年6月～36年5月		阿部野利恭	和仏法律学校(理、法政大)卒・卒年不詳
104 同	同	同	台湾總督府殖産局工課勤務	明治34年9月～37年3月		楠瀬 登	

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
105	同	酒類業		明治34年12月～37年3月		大神正道	滋賀県立彦根中学・明26卒か
106	同	雜貨業	在東京	明治36年11月～37年3月		殿野貫之	東京外語・露語・明35年7月卒
107	同	同	三井物産株式会社哈爾濱出張所員	明治40年1月～41年4月	無補助	高木百行	小学校卒か
合 計 107人							
(2) 欧羅巴洲							
108	英国	倫敦	織物意匠図案	死亡	明治29年11月～32年2月	井手馬太郎	サンフランシスコ美術学校、ロンドン美術学校入学生
109	同		綿糸紡績業	東京府東洋モスリン会社ニ就職	明治32年10月～34年3月	永井米蔵	東京高工・機械科・明25年7月卒
110	同		絹織物商業	横浜原合会社員	明治32年2月～34年3月	岡田源吉	東京高商・明26卒
111	同		製紙業		明治32年8月～34年9月	高田直屹	東京高工・機械科・明26年7月卒
112	同		花筵、麦稈真田綿糸棉花業	東京米穀取引所理事	明治32年8月～36年2月	大丸鐵太郎	札幌農学校・中途か渡航時ハーバー・大卒
113	同		雜貨業	大阪、山中商会業務担当社員京都、山中合会社々員	明治33年5月～37年5月	山中六三郎	大阪高商・本科・明29卒
114	同		同	大連、南滿州鉄道株式会社鉱業課勤務	明治34年9月～37年8月	君塚淺治郎	東京高商・主計・明24卒
115	同		機械製造業	長崎三菱造船所就職	明治36年4月～39年3月	榎木卯平(榎本)	東京密大・工科造船学科・明31年7月卒
116	同		果物業及園芸	台湾總督府技師殖産局農務課勤務	明治36年11月～39年9月	芳賀鐵五郎	札幌農学校・農学士・明36年7月卒
117	同		園芸	東京府立農事試験場嘱託員	明治37年4月～39年5月	林 修巳	
118	同		鯨油漬缶詰業	東京、恒川商会主管三崎、穀米株式会社取締役	明治39年10月～41年3月	河村尊雄	水産講習所・製造科・明37年7月卒
119	同		裝飾術	東京、帝國裝飾株式社主任技師	明治41年1月～41年9月	久野亀之助	東京美術学校・日本画科・明35卒
120	同		紙製品	岐阜市、勸使河原合資会社員	明治38年12月～42年3月	勸使河原佐太郎	

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
121	同	織物商業	高島屋飯田合名会社東京支店員	明治39年6月～42年6月	無補助	喜多村三木造	京都商業・明29卒
122	同	図案	東京ニ於テ図案業自営	明治40年7月～43年7月		白瀬幾之助	東京美術学校・西洋画科 選科・明31卒
123	同	商品及株式取引業	東京、井上薬品部海外通信部員 傍ラ海外輸出入業自営	明治40年12月～43年11月		細田幸男	
124	同	水産物及製塩機械製造 業	在東京	明治41年2月～43年6月		桂田冬造	
125	同	瓦器器具製作	東京瓦斯株式会社二就職	明治41年10月～43年4月	無補助	田中後治	東京美術学校・鍍金科・ 明27卒
126	同	機械製作業	大阪木本鉄工株式会社二就職	明治41年1月～44年1月		無津呂幸一	
127	同	織物業	桐生ニ於テ織物業ニ従事	明治40年12月～44年11月		三田長太郎	
128	同	硫酸アルカリー及人造 肥料製造	大阪アルカリー株式会社二就職	明治42年11月～44年10月		松井元太郎	東京帝大・工科応用化学・ 明38卒
129	同	果実ノ缶詰及併造術		明治42年10月～45年4月		松浦 廉	東京帝大・農学科・明治 41年7月卒
130	同	塗物媒地製作及図案		明治42年12月～大正元年12月		片岡準規	京都高等工芸学校・図案 科・明38卒
131	同	糊子業(糊子ニハけ・ ブラシ)	在兵庫、倫敦イラスエム、オペナイマー 商会代理者	明治42年10月～大正2年10月		水谷猶象	
132	同	機械製造業	支那上海税関幫弁	明治34年9月～37年8月		今井達雄	
133	同	捺染事業	和歌山市ニ於テ捺染ロール彫刻業ニ従事	明治38年4月～40年4月		九鬼寅吉	
134	同	染色業	福井県工業試験場長	明治38年11月～41年10月		中里新太郎	東京高工・農織科色染分 科・明33年7月卒
135	同	染色整理業	京都市外付商店員	明治41年1月～44年1月		矢橋善二郎	
136	同	捺染工業	鐘ヶ淵紡績株式会社兵庫工場勤務	明治41年2月～44年2月		村山峯造	京都高等工芸学校・色染 科・明38卒
137	同	製鉄業	東京府ニ於テ汽罐汽機ノ検査、設計、製図、 鑑定、製作修繕工事等ノ監督官行出願代 弁自営	明治38年5月～41年5月		富樫信敏	
138	同	水産業	函館、一井組(漁業)店員	明治35年10月～38年9月		武藤禮二	水産講習所・漁務科・明 31年4月卒
139	同	機械製造業	神戸、三菱造船所技術員	明治35年1月～38年8月	無補助	熊井泰助	東京高工・機械科・明治 31年7月卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
140	同	水産業	尼崎ヶ町日本製磚株式会社技師長	明治37年5月～40年5月		石田鐵郎	水産伝習所・製造科・明治29年8月卒
141	同	油類業	横浜魚油株式会社神戸支店支配人	明治42年11月～45年1月		前田邦太郎	
142	同	合成金屬製法色付法金 属裝飾及印刷術		明治39年1月～41年2月		寛 定次	東京美術学校・彫金科選科・明治35卒
143	同	毛織物工業	兵庫県加古川日本毛織株式会社ニ就職	明治41年8月～44年3月		奈良良三	京都高等工芸学校・圖案科・明治39卒
144	同	毛織物工業		明治41年11月～44年11月		安孫子眞雄	東京高工・染織科・織織分科・明治37年7月卒
145	同	綿天鰯咸製織及整理業	堺市大和川大阪織物合資会社ニ就職	明治43年11月～44年5月		穴道政一郎	東京高工・教員養成所・紡織科・明治39年3月卒
146	同	園芸家禽畜	馬政局技手 奥羽種馬牧場在勤	明治43年11月～44年7月		西郷徳志	学習院・中等学科・明治36年7月卒
147	同	鋼鐵匠延	神戸川崎造船所兵庫分工場ニ就職	明治41年11月～44年11月		竹内正彦	東京高工・機械科・明治32年7月卒
148	同	製革業	東京、明治製革株式会社ニ就職	明治41年12月～44年12月		杉村泰治	水産講習所・製造科・明治40年9月卒
149	同	電線製造業		明治43年11月～大正2年11月		西郷稀士	東京高工・機械科・明治40年7月卒
150	同	農産物利用法		明治43年11月～大正2年11月		小野保之	東京帝大・農学科・明治42年7月卒
151	仏国	染色業	東京モスリノ紡績株式会社作業部長	明治32年10月～33年12月		登坂秀典	東京高工・染織工科・明治27年7月卒
152	同	園芸	農事試験場技師興津園芸試験場在勤	明治35年12月～38年9月		石原助熊	農科実科・明治29卒
153	同	鑄金術	紐育ニ於テ鑄金業ニ従事	明治37年2月～38年12月	無補助	前島交吉	東京美術学校彫刻科・明治23卒
154	同	象形陶磁器製法	東京美術学校教授	明治36年5月～39年4月		沼田勇次郎	渡仏中アカデミー・ジュリアン・セーブル陶磁製作所にて学ぶ
155	同	鑄金業	東京ニ於テ鑄金業自営	明治38年4月～41年4月		松原友丸	
156	同	鑄銅品及陶器原型製作	死亡	明治38年4月～40年10月		本俣義太郎	東京美術学校・木彫科・明治34卒
157	同	室内裝飾及彫刻		明治40年7月～42年6月		高村光太郎	東京美術学校・木彫科・明治35卒

練習地	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
158 同	鋳金術	(前出)	明治40年3月～43年3月		前島交吉 (再度任命)	東京美術学校 彫刻科・ 明治23卒
159 同	染色図案		明治40年4月～43年4月		津田亀治郎	京都市立染織学校・明治30 入学
160 同	木材彫刻	東京ニ於テ斯業自営	明治40年10月～43年10月		畑 正吉	東京美術学校 彫刻科・ 明治39卒
161 同	牙介彫刻(原型彫刻業)	東京ニ於テ斯業自営	明治41年1月～43年12月		保坂敏次郎	東京美術学校 鋳金科・選 科・卒年不詳
162 同	彫刻(建築及陶磁器ニ 応用)	在仏中	明治41年11月～44年11月		藤川勇造	東京美術学校 彫刻科・ 明治41卒
163 同	巴里及セーブル	工業試験所技師	明治35年1月～37年4月		北村彌一郎	東京高工・窯業科・明治23 年7月卒
164 同	里昂	京都市京都織物株式会社支配人	明治30年1月～32年9月		船坂八郎	東京高工・染織工科・明 治25年7月卒
165 同	絹織物商業	横浜高島屋飯田合名会社直轄部支配人	明治32年3月～33年7月		竹田量之助	東京高商・明治28卒
166 同	絹織物工業	京都ニ於テ西陣織物業造及紋彫業染色用 機械器具輸入商自営	明治31年10月～35年3月		島居精三郎	
167 同	染色業		明治32年9月～35年9月		森田儀一郎	東京高工・染織工科・明 治28年7月卒
168 同	織物工業	京都織物株式会社副支配人	明治34年9月～35年9月		可見一雄	東京高工・機械科・明治 29年7月卒
169 同	織物図案	東京ニ於テ斯業自営	明治33年6月～36年3月		笠原吉太郎	
170 同	織物商業		明治33年7月～36年3月		長沼恭爾	東京高商・明治30卒
171 同	絹織物紋様業		明治33年6月～36年5月		菅 善三郎	
172 同	製絹業		明治33年6月～36年3月		岩本清三郎	慶應義塾・高等科・明治30 年4月卒か
173 同	絹織物商業	在里昂高島屋飯田合名会社店員	明治33年11月～36年10月		太田有二	東京高商・明治28卒
174 同	絹織物商業	大阪長瀬瀬商店員	明治34年4月～36年10月		長瀬傳次郎	大阪高商・明治31入学
175 同	織物業	京都東華織物合資会社代表社員	明治35年5月～38年11月		格 満次郎	京都商業・明治29卒
176 同	織物図案	在仏中	明治36年8月～39年7月		福島建三	
177 同	染色業	在東京	同		土屋富三郎	東京高等師範附属中学・ 明治30卒か
178 同	巴里及セーブル	蚕糸業	明治36年12月～39年10月		藤村喜蔵	東京蚕業講習所・明治25 年度卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
179 同	同	織物業	富士瓦斯紡績株式会社小山第二工場副主任技師	明治38年12月～40年6月		高野瀬芳夫	東京高工・教員養成所色染科・明31年7月卒
180 同	同	羽二重業	堺市大阪織物株式会社商務長	明治38年4月～39年11月		梶 喜雄	東京高工・染織科・明23年7月卒
181 同	同	絹織物染色及整理業	横浜野澤屋輸出店員	明治39年7月～42年7月		小林林次郎	東京外語・仏語・明37卒
182 同	同	生糸貿易及絹織物業		明治42年10月～大正元年8月		大箸猪輔	盛岡高等農林学校・明39年4月卒
183 同	馬耳塞	石版製造業		明治33年4月～36年5月		林 庄一	
184 同	ボルドー	缶詰業及木産物販売業		明治39年6月～42年6月		水嶋俊一郎	慶応義塾・高等科・明31年4月卒
185 同	ルーベーンツールエアン市	紡績業	大阪府・モスリン紡績株式会社製造副部長	明治32年8月～34年10月		渡利 勉	東京高工・染織工科・明27年7月卒
186 同	ルベール	羊毛・毛糸及毛類紡績業	在仏中	明治42年11月～大正元年11月		高山 忠	東京外語・仏語・明39卒
187 独国	伯林	製陶業	名古屋森村組技師	明治30年3月～31年6月		飛鳥井孝太郎	東京高工・窯業科・明23年7月卒
188 同	同	練化石製造業	大阪窯業株式会社常務取締役支配人兼技師長	明治33年2月～33年8月		大高莊右衛門	小学校卒
189 同	同	織物業	東京二於テ独、仏国織物取扱販売業二従事	明治33年2月～34年3月		比留間賢八	音楽取調掛全科 (のちの東京音楽学校) 明20年2月卒
190 同	同	陶磁器商業	京都陶磁試験所長	明治32年9月～34年8月		藤江永孝	東京高工・窯業科・明22年7月卒
191 同	同	製革業	大阪、日本皮革株式会社大阪工場営業部長	明治32年10月～34年7月		大澤 亨	小学校卒
192 同	同	硝子業		明治32年11月～35年11月		渡邊 明	東京高工・窯業科・明29年7月卒
193 同	同	漆汁、漆器業	台湾総督府研究所技師	明治34年3月～37年3月		早川政太郎	
194 同	同	絹織物業	山梨県工業試験場長	明治35年5月～38年4月		河口 孝 (旧姓：岡部)	東京高工・染織科・明治29卒
195 同	同	電気化学工業	東京帝国大学工科大学教授	明治38年8月～38年12月		嶋居 武	東京帝大・工科応用化学科・明27年7月卒
196 同	同	畜産業		明治37年12月～40年4月		中村由太郎	札幌農学校・農学士・明33年7月卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
197 同	同	度量衡製作及鍍金術	農商務省嘱託員	明治40年2月～43年2月		津田五一	東京高工・機械科・明36年7月卒
198 同	同	石膏製作	富山県立工芸学校教授嘱託	明治40年8月～43年8月		山本久次郎	東京美術学校・鍛造科・明36年卒
199 同	同	醸造業	南満洲鉄道株式会社醸造部技師	明治42年11月～44年11月		齊藤賢道	東京帝大・理学植物学科・明33卒。のち理博。
200 同	漢堡	魚油業	トロール漁業二従事	明治37年6月～39年9月		千葉幸三郎	水産講習所・製造科・明34年4月卒
201 同	同	捕鯨業		明治30年4月～39年9月		綾部寛雄	水産伝習所・明24年7月卒
202 同	ハーデン、カールス、ルーヘ	電気化学工業		明治44年2月～大正2年9月		森 殿五郎	東京帝大・工学応用化学・明38卒
203 同	ザクセン州	製革業	日本皮革株式会社監査役、日本製靴株式会社監査役	明治35年6月～37年3月		阿川彦七 (旧姓：後藤)	第一高等学校中退(病気による)
204 同	同	同	千住中組日本皮革株式会社技師長	明治34年12月～37年12月		土居川佐一郎	東京高工・応用化学科・明28年7月卒
205 同	同	製糖業	農事試験場技師	明治38年4月～41年4月		片山外美雄	東京帝大・農科・明35卒
206 同	ゲッツンゲン	雑貨商業	死亡	明治34年8月～37年5月		菊池郡蔵	独逸学協会学校・専修科・明21(第1回)卒
207 同	同	セメント工業	在東京	明治34年12月～37年9月		篠崎友三	東京高工・醸造科・明25年7月卒
208 同	ミュルハルゼン	絹織物染色及整理業	在里昂長瀬商店出張所主任	明治39年7月～42年6月		森山勇三郎	東京高工・染織科分科・明36年7月卒
209 同	ニウレンバルグ	電気事業	東京築地イリス商会電気課主任	明治37年1月～40年1月		平賀義夫	大阪府立北野中学・明35卒
210 同	フラヒベルグ	製革業及皮革鞆製作		明治41年1月～42年9月		喜多金太郎	
211 同	オーバーハウゼン	製銅業	大阪住友鋳鋼場技師	明治35年5月～36年10月		辻 彌一郎	東京高工・機械科・明26年7月卒
212 同	ハイデルブルグ	製油業	四日市製油場 営業主任	明治34年9月～37年8月		武藤朝之助	東京高工・応用化学科・明28年7月卒
213 同	アルサス州	捺染業及機織彫刻業		明治35年12月～38年2月		武久寅次郎	東京高工・染織工科・明26年7月卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
214	同	ライン	果実酒醸造業	台湾総督府研究所技師	明治40年4月～43年4月	中澤亮治	東京帝大・農科・卒年不詳
215	同	ハルレー	西洋靴調及工靴製造リ スリン精製法	在東京脂肪工業合資会社業務執行社員	明治40年12月～43年5月	永松嘉吉	
216	同	ミユルハウゼン	捺染工業	東京柴田染料商店染色試験所主任	明治40年7月～43年7月	吉岡清恵	東京高工・染織科色染分 科・明39年7月卒
217	同	エツセン	電気事業	東京市電気局工務課二就職	明治41年1月～43年11月	江藤清角	東京高工・電機科電気機 械分科・明34年7月卒
218	同		電灯球製造業	大阪ニ於テ新業自営	明治42年3月～43年11月	河村久吉	東京高工・附属職工徒弟 学校・金工科(仕上)明28 年3月卒
219	同		製菓業	東京ニ於テ薬品製造業自営	明治41年11月～44年11月	間中綱吉	東京薬学校卒(卒年不詳)
220	独国(英国)	各種組合及商業機関ニ 関スル事務	産業組合中央会講師	明治42年10月～44年10月		西垣恒矩	札幌農学校・農学士・明 32年7月卒
221	独国	糊固応用法及セルロイ ド製造	東京ニ於テ医療器具販売業自営	明治42年11月～44年11月		田中秀介	東京帝大・薬学・明42卒
222	同		教育的玩具製造		明治42年1月～45年1月	松田順三	東京美術学校出身小
223	同		陶器業	工業試験所技手	明治42年11月～44年11月	熊澤次郎吉	東京高工・教員養成所窯 業科・明30年7月卒
224	同		麦酒醸造業		明治43年10月～大正元年12月	飯島 光	東京帝大・工学応用化学・ 明39卒
225	同		薬品及化粧品製造	東京ニ於テ薬品及化粧品製造業自営	明治42年11月～大正2年3月	今井源四郎	東京薬学校・明37卒 東京帝大・医学部薬学科 選科・明39入学
226	同		セメント及セメント製 品製造業	小野田セメント株式会社社員	明治43年9月～大正2年2月	狩野宗三 (旧姓：大木)	東京帝大・工科応用化学・ 明40卒
227	同		製紙業	富士製紙株式会社社員	明治43年5月～大正2年5月	島田頼二	東京高工・応用化学科・ 明35年7月卒
228	同		硝子製造業	大阪府ニ於テ製硝業自営	明治34年9月～35年12月	益田熊太郎	東京高工・機械科・明25 年7月卒
229	同		板硝子製造業	兵庫県尼ヶ崎旭硝子株式会社ニ就職	明治33年9月～36年8月	山田三次郎	東京高工・窯業科・明30 年7月卒
230	同		銅器陶器/原型図案	東京ニ於テ新業自営	明治39年7月～42年6月	武石弘三郎	東京美術学校・彫像科・ 明34卒
231	瑞西国	チュリック市	生糸捻糸業絹糸紡績業	大阪、木本鉄工株式会社ニ就職	明治34年11月～37年3月	岩永秀三郎	東京高工・機械科・明27 年7月卒

線習地	(都市名)	線習科目	理職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
232 同	ローザン市	商業		明治38年10月～41年10月		岩下家一	東京高商・明38卒
233 同	バズル市	染色及整理業	東京日本橋区南川染料店員	明治43年11月～大正2年11月		板橋傳三郎	
234 同	維也納	絹織物業		明治34年9月～37年3月		田中知四郎	
235 同	同	製革業	千住日本皮革株式会社技師	明治40年5月～43年5月		松尾鑑彦	水産講習所・製造科・明36年7月卒
236 同	同	ライスベーパー製造業	東京製紙株式会社社員	明治43年10月～大正2年8月		多和田精一	東京高工・電気科電氣化学分科・明39年7月卒
237 伊国	ミラン	蚕糸業	東京蚕糸講習所講師	明治36年5月～39年3月		野村彦太郎	東京帝大・理科大学選科・明29修業
238 同	同	雜貨商業	死亡	明治38年10月～40年10月	無補助	堀 武三	東京外語・伊語・明38年7月卒
239 同	同	蠟燭詰業及水産工芸品	在支那上海、大来洋行主	明治40年7月～44年9月		佐々木繁太郎	水産講習所・製造科・明32年4月卒
240 同	ベニス	美術工芸品及裝飾圖案並彫刻	在伊中	明治41年11月～44年10月		寺崎武男	東京美術学校・西洋画科・明40卒
241 同	ノハラ	採染工場	大阪本庄合資会社稲畑染工場二勤務	明治41年2月～44年1月		奥田喜代治	大阪高工・染織科・明35卒
242 同	チュラン	美術工芸圖案	東京ニ於テ斯業自営	明治41年8月～45年1月		谷口新次郎	
243 同	同	琺瑯鉄器業	三重県桑名琺瑯鉄器株式会社技師	明治41年3月～45年1月		石橋瀧雄	
244 露国	聖彼得堡	工芸品商業	朝鮮總督府通信官	明治32年9月～34年6月		島井忠恕	
245 同	同	雜貨商業	滿洲在留中	明治33年9月～34年6月		夏秋亀一	東京帝大・法科政治・明32年7月卒
246 同	同	貿易業	東京ニ於テ商業ニ従事	明治39年7月～44年8月		中村祥太郎	
247 同	モスコウ	生糸及絹織業	モスコウニ於テ生糸商業自営	明治35年7月～38年11月	無補助	河野通久郎	東京帝大・法科政治・明34年7月卒
248 同	オデツサ	雜貨商業	在英中	明治40年10月～43年10月		佐藤有二	東京外語・露語・明40卒
249 露威国	同	漁業	東京、日本製丹株式会社監査役	明治37年3月～39年9月		南摩紀磨	水産講習所・31年海防科卒、遠洋漁業練習科・明34年7月卒

合 計 142人

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
(3) 垂米利加洲							
250	米国	組育	絹織物商業			芥川鐵藏	
251	同	同	銅、茶、生糸、花菱業	明治30年9月～32年2月		横井正太郎	慶應義塾・大学部理財科・ 明25年12月卒
252	同	同	生糸商業	同		大木信次郎	東京高商・明29卒
253	同	同	茶業	明治29年9月～33年3月		古谷竹之助	第一高等中学・明22中退 渡米後ミシガン大学
254	同	同	商業	明治30年8月～33年8月		遠藤吉四郎	—
255	同	同	紡績業	明治32年10月～34年3月		十時 元	東京高工・機械科・明26 年7月卒
256	同	同	陶磁器製造業	明治34年7月～35年3月		松村八次郎	東京高工・窯業科・明24 年7月卒
257	同	同	銅販売業	明治33年6月～35年9月		森 三郎	東京高商・明30卒
258	同	同	綾造及雑貨業	明治33年6月～36年4月		福原八郎	東京高商・明32卒
259	同	同	陶磁器商業	明治35年12月～36年8月		瀧藤治三郎	小学校高等科卒 (その後 神戸の夜学校)
260	同	同	絹織物商業	明治33年8月～36年9月		桑 敏之	東京帝大・文科史学・明 32卒
261	同	同	商業	明治35年11月～36年11月	無補助	荒木隆平	大阪高商・本科・明31卒
262	同	同	陶磁器製造業	明治34年10月～36年12月		百木三郎 (旧姓：河 原)	東京高工・窯業科・明32 年7月卒
263	同	同	製紙業	明治34年3月～37年2月		中山高吉	東京帝大・工科応用化学・ 明33卒
264	同	同	水産業	明治34年7月～37年3月		一宮弘人	水産講習所・製造科・明 33年4月卒
265	同	同	製紙業	明治34年12月～37年3月		船水武五郎	東京高工・機械科・明27 年7月卒
266	同	同	インキ及印刷業	明治37年1月～37年3月		玉木露夫	小学校か
267	同	同	商業	明治34年8月～37年7月		星 一	私立東京商業学校・明27 卒。渡米後集英館留学生に なる。コロンビア大学卒。

練習地	練習地 (都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
268	同	棉花商業		明治36年11月～37年10月		岡原時三	
269	同	機械製造業	東京ニ於テ自動車製造業ニ従事	明治35年5月～38年4月		橋本増次郎	東京高工・機械科・明治28年7月卒
270	同	陶磁器業	名古屋市愛知信託株式会社常務取締役	明治35年11月～38年10月		西浦猪三郎	
271	同	金属彫刻業	東京ニ於テ美術工芸彫刻業自営	明治35年9月～38年9月		平山常太郎	
272	同	綿布及綿糸業		明治34年4月～38年11月	無補助	八木保三	慶應義塾・明治29年12月入学、のち中退か
273	同	花菱業		明治36年4月～39年3月		松田卯三郎	
274	同	絹織物業		明治36年4月～39年4月		渡邊 廉	大阪高商・本科・明治31卒
275	同	陶磁器業		明治36年11月～39年10月		山本庄兵衛	京都商業・明治29卒か
276	同	水産貿易業		同		今井兼氏	水産伝習所・製造科・明治29年8月
277	同	硝子業		明治37年1月～39年11月	無補助	熊崎勝次郎	
278	同	経木真田、羽二重業		明治37年2月～40年2月		石本弘敬	東京帝大・農科・明治24年7月卒
279	同	園芸	神奈川県農事試験場長	明治37年6月～40年2月		本間啓太郎	
280	同	茶業	静岡市日本共同製茶株式会社二號職	明治37年4月～40年4月	無補助	山田増次	静岡商業・明治35卒
281	同	兎大小業	大阪ニ於テメリヤス器械各種仕上器械機器等ノ直輸入業ニ従事	明治38年6月～40年3月		善積武太郎	小学校卒か
282	同	経木真田、羽二重業	東京、野澤組支配人	明治37年5月～40年3月		三瓶勇佐	小学校卒か、渡米時ヨーロッパ大に退学。
283	同	図案	熱田、日本車輛製造株式会社取締役	明治37年5月～40年4月		河邊正夫	東京美術学校・図案科・明治32卒
284	同	金属彫刻業	在組有河邊図案研究所主	明治37年5月～40年4月		山本正三郎	東京美術学校・彫金科・明治30卒
285	同	図案	東京府立工芸学校教師	明治37年6月～40年6月		濱 訓良	東京高工・教員養成所工業図案科・明治33年7月卒
286	同	機械製造業	日本電報通信社取締役	明治37年5月～40年7月	無補助	長井省四郎	東京高工・機械科・明治31年7月卒
287	同	陶磁器雜貨業	敦賀電灯株式会社就職	明治37年7月～40年3月		高橋本吉	東京高等師範卒、米アリ・ス・ストン大修士を得た後、実業練習生となる
288	同	採鉱冶金業	英国ジアデンマゼン商会機械部大進出張所主任	明治38年7月～40年3月		井上匡四郎	東京帝大・工科採冶・明治32卒・工学博士

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
289	同	陶磁器製造業		明治39年6月～41年3月		小山佐多次郎	
290	同	機械製作業	早稲田大学理工科就職	明治38年4月～41年4月		中川常蔵	東京高工・機械科・明33年7月卒
291	同	醤油漬製造業	三重県鳥羽、東洋水産株式会社嘱託技師長	明治39年11月～41年3月		後藤義一郎	
292	同	銅版売業	東京、古河合名会社就職	明治36年6月～39年1月		湯川兼吉	東京高商・明31卒
293	同	船舶用機関製造	東京、石川島造船所技師	明治39年7月～41年3月		泉 量一	東京高工・機械科・明31年7月卒
294	同	レザー製造業	死亡	明治40年2月～41年3月		織田義一	
295	同	意匠図案	京都ニ於テ図案業自営	明治39年3月～40年12月		澤田誠一郎	東京美術学校・図案科・明38卒
296	同	建築業		明治39年7月～41年4月		下條健一郎	
297	同	工業図案	在米中	明治38年7月～41年6月		森田茂樹	東京高工・工業図案科・明35年7月卒
298	同	陶磁器業	死亡	明治38年8月～41年8月		水野和雄	東京高商・明37卒
299	同	漆器図案	東京ニ於テステンドグラス製造業自営	明治38年10月～41年9月		小川三知	東京美術学校・日本画科・明28卒
300	同	信託事業及銀行業	三井物産株式会社小樽支店員	同		渡邊 惇	慶応義塾大・理財・明38卒
301	同	絹織物及雑貨業	在紐育野澤屋支店員	明治39年7月～41年5月		三田村八郎	
302	同	花菱業	在紐育茂木桃井商会店員	明治39年3月～42年3月		梅澤房次郎	東京高商・明37卒
303	同	図案	東京高等工業学校助教授	明治40年11月～42年3月		鹿島英二	東京美術学校・彫刻科・明39卒
304	同	陶磁器輸出業		明治39年6月～42年6月	無補助	吉田長太郎	
305	同	染色科晒白洗滌業	東京ニ於テ斯業自営	同		瀧浦 潭	東京高工・染織科染織分科選科・明38年3月卒
306	同	綿毛織物業	在紐育市綿毛織染業従事	明治39年7月～42年6月		鶴岡松之助	東京高工・選科染織科色染分科・明36年7月修了
307	同	倉庫業	在米国華盛頓鈴木商會組合員	明治39年7月～42年6月		神谷貞次郎	東京高商・明37卒
308	同	金属彫刻及工業図案		明治39年9月～42年9月	無補助	田窪五郎	東京美術学校・彫金科・明29卒
309	同	茶業	静岡県中村商店製茶貿易部員	明治39年9月～42年9月		中村来吉	

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
310	同	同	滋賀県ニ於テ農業ニ従事	同		井狩雄吉 (旧姓:能勢)	
311	同	羽二重綿縮練加工品販売		明治40年7月~43年7月	無補助	飛松 謙一	早稲田大・政治経済学科・明38卒
312	同	生糸貿易・組織物業	在米・横浜生糸合名会社紐青支店員	明治40年9月~43年9月		福島 延恵	東京高等蚕糸・製糸学科・明38卒
313	同	花蒔業	在米中	明治40年11月~43年11月	無補助	田中 源六	大阪高商・高等科・明37卒
314	同	意匠図案業		明治40年12月~43年11月		古田土貞治	東京美術学校・日本画科選科・明35卒
315	同	組織物業	在紐青古合商會員	同		池田 謙藏	八幡商業・明36年4月卒
316	同	花蒔業	東京・欧米各国建築材料代理店藤原商店京城支店長	明治40年11月~43年11月	無補助	徳田 高二	東京専門学校(早大)・邦語行政科・明31卒
317	同	農場経営	福岡県立農事試験場技師	明治40年8月~43年3月		半田 彌修次	
318	同	琺瑯鉄器業	三重県桑名琺瑯鉄器株式会社技師長	明治41年8月~44年1月		内田十喜治	京都帝大・工学・製造化学科・明40年7月卒
319	同	鋳金術	米国ロード・アイランドニ於テ鋳金業ニ従事	明治41年1月~44年1月		鈴木 清	東京美術学校・鋳金科選科・明39卒
320	同	機械製作業	死亡	同		上野 嘉一郎	
321	同	同	在米中	明治41年10月~44年10月		稲葉 秋藏	
322	同	製版印刷業	在東京日本金属製版所二就職	明治41年11月~44年11月		増子 保造	
323	同	機械製作業	在米中	明治41年11月~45年1月		石村 左吉	
324	同	リネン商業	在米中	明治43年11月~45年3月		新藤 誠司	横浜商業・第6期生(明27年度卒)
325	同	電気機械製作	農商務省嘱托員	明治42年10月~45年5月		山本 忠興	東京帝大・工科電気・明38卒
326	同	瓦斯機関応用船舶製造	在米中	明治42年10月~大正元年10月		井上 文藏	東京帝大・工科造船学科・明37年7月卒
327	同	鋳(やすり)製造業	死亡	明治43年10月~大正2年5月		森永 勝之助	熊本高工・機械工学科・明40卒
328	同(英国)	電気工事及電気機械製作	在米中	明治42年9月(住) 明治43年11月~大正2年9月	明治42年分は無補助	後藤 國明	東京帝大・工科電気・明42卒
329	米国	瓦斯ノ製造及応用法	在米中	明治42年10月~大正2年10月		川合 秀一	東京高工・教員養成所応用化学科・明42年3月卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
330 同	同	花蒔業	在米中	明治43年10月～大正2年10月		松本岩次郎	
331 同	同	印刷及製本業	在米中	明治43年10月～大正2年10月		横倉彌太郎	
332 同 (米国)	同 (倫敦)	製茶及落花生商業		明治43年10月～大正2年10月		榎合政司	早稲田大・政治経済学科 (政治)・明40卒
333 米国	紐育	生糸貿易業	在米中	明治43年11月～大正2年11月		高木電吉郎	大阪高商・高等科・明38卒
334 同	ニューヨーク州	園芸業	在米中	明治42年10月～大正元年10月		坂田武雄	農科実科卒
335 同	ブルックライン市	染色業		明治33年6月～33年11月		工藤義介	
336 同	スケネクターデー	電気機械製作業		明治33年6月～35年9月		伊東二三	
337 同	同	電気機械器具製造業	死亡	明治36年4月～37年3月		富田 薫	東京帝大・工科電気工学科・明31年7月卒
338 同	同	電気機械製作業	鉄道院技師	明治39年7月～40年7月		吉原重成	東京帝大・工科電気・明38卒
339 同	マサチューセッツ州	木材乾留物製造業		明治41年10月～44年4月	無補助	塚越卯太郎	東京薬学校卒。渡米時にはボストン・Institute of Technology に進学
340 同	同	育種果樹蔬菜栽培業		明治41年11月～44年11月		永井威三郎	農科実科・明41卒
341 同	ボストン市	織物業	堺市大阪織物株式会社支配人兼工務長	明治34年9月～35年8月		多田成政	東京高工・機械科・明28年7月卒
342 同	同	工芸意匠図案		明治37年3月～38年9月		横山秀麿	東京美術学校・日本画科・明26卒
343 同	同	同	東京府ニ於テ図案業自営	明治38年5月～41年5月	無補助	出口清三郎	東京美術学校・油画科・明34卒
344 同	同	漆器製作業	東京ニ於テ斯業自営	明治37年3月～40年3月		六角注多郎	東京美術学校・画絵科・明26卒
345 同	ボストン市	漆器販売並漆料製造業	米国ボストン美術博物館に聘中	明治39年8月～43年8月		富田幸次郎	京都市立美術工芸学校・明39卒
346 同	コネチカット州	商業	三井物産株式会社香港支店長代理	明治33年6月～34年9月		山口精一	同志社普通学校・明29卒
347 同	同	製菓業		明治43年10月～大正2年10月		田中銀藏	
348 同	費府	同	神戸ニ於テ造船鉄工業ニ關スル諸器械材料ノ販売業自営ノ傍テ空欄日本製鋼所英国企社ノ代理店経営	明治29年10月～32年10月		成瀬正行	慶應義塾・正科・明27年12月卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
349 同	同	生糸輸出業	在上海古河出張所員	明治33年9月～35年9月		一色兼四郎	
350 同	同	商業	東京京橋区葛原商會主	明治36年4月～39年3月		葛原猪平	東京高商・明33年退学、 35卒
351 同	同	機械製造業	鉄道院技師四日市工場長	明治36年8月～39年7月		岸山憲二	東京高工・機械科・明31 年7月卒
352 同	同	鉄道車両製造業	大阪市・摂津勸業株式会社 野田工場工場長技師	明治39年9月～42年9月	無補助	今村奇男	京都帝大・工科機械・明 39卒
353 同	同	機械製造業	鉄道院技師西部管理局藤取工場在勤	明治40年11月～43年10月		米住綱雄	東京高工・機械科・明31 年7月卒
354 同	ピッツバーグ	電気工業	京橋区築地電機會社明電舎勤務	明治36年8月～39年3月		藤本五郎	東京帝大・工科電気・明 32卒
355 同	ベンシルベニ ヤ州	石油精製業	新潟県日本石油株式会社製油技師長	明治32年4月～34年3月		高野新一	東京高工・渡米後、ケー ス理科大で修士号。
356 同	同	電気機械製造業		明治34年12月～37年11月		高杉健之丞	
357 同	同	毛織物工業及毛工業	東京製絨株式会社技師員	明治40年2月～43年2月		山野邊義勇	東京高工・染織科染織分 科・明38年7月卒
358 同	同	電気工業	東京、王子電気重工業株式会社技師	明治42年11月～44年5月		皿田精一	東京高工・電気科・明32 年7月卒
359 同	同	電気鉄道用機械製作		明治42年10月～大正元年10月		豊村忠四郎	東京高工・電気科・明38 年7月卒
360 同	同	綿糸紡織	在米中	明治42年11月～大正2年11月		加藤彌兵衛	東京高商・明39卒
361 同	フロリダ	園芸業	東京府二於テ著述業ニ従事	明治41年1月～43年2月	無補助	田中收吉	東京専門学校(早大)・ 英語政治科・明31卒
362 同	市俄古	製油製粉業		明治34年9月～37年8月		森 廣	札幌農学校・農学士・明 34年7月卒
363 同	同	漆器業	死亡	明治37年3月～40年3月		岩本茂三郎	静岡商業・明35卒
364 同	同	茶業	静岡市米国市俄古ホイツニー商会支店 員	明治37年4月～40年4月	無補助	長島勝三	静岡商業・明35卒
365 同	同	通運業		明治38年8月～40年8月	無補助	佐久間栄太 郎	
366 同	同	セメント製造業	北海道セメント株式会社技師長兼製造部 長	明治38年4月～41年4月		新名永一	東京高工・窯業科・明33 年7月卒
367 同	同	茶業	静岡市日本共同製茶株式会社ニ就職	明治38年5月～41年5月		寺田良平 (旧姓:黒川)	横浜商業・16期生(明37 年度卒)
368 同	同	麥酒、酒精醸造工業	大阪日ノ出ビール醸造所技術顧問	明治40年7月～41年9月		和田良史	大阪高工・醸造科選科・ 明37卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
369 同	同	畜産業	農商務省顧託員、 月寒種畜牧場渋谷分場在勤	明治40年2月～41年9月		飯田吉英	農科実科・明35卒
370 同	同	家具製作業	東京府立工芸学校教諭	明治40年3月～41年12月		深見久七	東京高工・教員養成所建築科・明37年3月卒
371 同	同	酪業	農商務技手	明治39年6月～42年4月		湯地定武	札幌農学校・農学士・明38年7月卒
372 同	同	機械工業	死亡	明治39年9月～42年3月		廣瀬吾策	大阪高工・機械科・明38卒
373 同	同	銀行業	東京府ニ於テ支那羊毛織甘草事業ニ従事	明治39年6月～42年6月	無補助	阿部芳松	専修学校(専修大)・理財科・明37年7月卒
374 同	同	製鉄業	在米中	明治40年2月～43年1月		大井藤吉	東京高工・機械科・明36年7月卒
375 同	同	機械製作業		明治40年1月～43年1月	無補助	松尾照一	東京高工・機械科・明36年7月卒
376 同	同	塗料業	鉄道院新橋工場在勤	明治41年1月～44年1月		長松幾太郎	
377 同	同	畜産物加工業	在米中	明治43年4月～大正2年4月		釘本昌二	東京帝大・農学科・明41年7月卒
378 同	同	陶器ノ図案並絵付業	在外	明治43年11月～大正2年10月		秋元隆雄	東京高工・教員養成所工業図案科・明41年3月卒
379 同	ウエキスコンシン州	酪業		明治39年9月～42年9月	無補助	八木純徳	
380 同	アイオワ州	商業	在米中	明治34年7月～37年6月	無補助	河上 清	東京法学院(中央大)明29年7月卒
381 同	セントルイス市	農畜産物業	在英中	明治36年4月～39年4月		大橋賢之甫	農科実科・明32卒
382 同	同	缶詰業	北海道ニ於テ缶詰業自営	明治37年2月～40年2月		星野佐紀	水産伝習所・明27年3月卒
383 同	カンサス州	農業	農業自営	明治39年7月～40年3月		鈴木重慶	札幌農学校・農芸科・明36年3月卒
384 同	ニューオーレアンズ	綿糸棉花業		明治33年6月～35年12月		原田光次郎	
385 同	同	製糖業		明治34年12月～36年3月		池田和吉	小学校卒か
386 同	ルイジアナ州	同	大日本製糖株式会社技師長	明治35年3月～36年5月		澤 全雄	東京高工・応用化学・明29年7月卒

練習地	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
387 同	同	台湾嘉義廳斗六製糖株式会社専務取締役兼技師長	明治36年10月～39年10月		松江春次	東京高工・応用化学科・明32年7月卒
388 同	ケンタツキョウ	馬政局技手福島種馬所在勤	明治40年7月～43年5月		及川榮藏	盛岡高等農林学校・獣医学・明39年4月卒
389 同	ポートランド	神戸ニ於テ陶磁器製造輸出業ニ従事	明治38年8月～41年6月	無補助	中部榮一	神戸商業・明37卒
390 同	桑港	太平洋通信記者	明治33年4月～35年1月		森山守次	東京帝大・法政科政治・明32年7月卒
391 同	同	北海道ニ於テ鉱山業ニ従事	明治29年11月～35年3月		前田謙一郎	水産伝習所(第3回・明24年7月卒)
392 同	同	茶業	明治34年8月～37年7月		名和陽一	東京高商・主計・明24卒
393 同	同	染織業	同		山地康次郎	慶應義塾・高等科・明29年12月卒
394 同	同	茶及雑貨業	明治35年5月～38年11月	無補助	野口内蔵吉	東京専門学校(早大)・英語政治科・明34卒
395 同	同	雑貨商業	明治37年1月～40年1月		川上助次郎	水産講習所・養殖科・明37年7月卒
396 同	同	海産ノ利用法及販路	明治40年4月～45年4月		椎原敏男	
397 同	カリホルニア	花産業	明治40年1月～41年1月	無補助	山田 榮	
398 同	同	家禽業	明治37年12月～41年3月		大久保敏雄	東京帝大・農学科・明27年7月卒
399 同	同	甘蔗栽培及製糖業	明治40年3月～41年12月		伊藤 誠	農科実科・明治35年卒
400 同	同	葡萄栽培及農業	明治39年9月～42年9月		瀧口喜造	農科実科・明36卒
401 同	同	植産畜産製造業	明治40年2月～43年2月		常光恭一	
402 同	同	園芸業	明治40年8月～44年8月		杉山昌治	
403 同	同	甜菜甘蔗栽培及製糖業	明治42年10月～大正5年10月		中澤保三	
404 同	同	水産業	明治35年1月～37年12月		平野友安	水産講習所・製造科・明31年4月卒
405 同	同	同	明治37年6月～37年12月	無補助	高松勝重	水産講習所・製造科・明31年4月卒
406 同	同	鍛性鋼鉄ノ製法	明治38年4月～40年3月		石田 輝	東京高工・機械科・明34年7月卒
407 同	同	農用器具機械業	明治39年6月～42年6月		關 虎雄	農科実科・明31卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
408 同	同	園芸業	米国加州堂本商会員	明治40年11月～43年11月	無補助	吉田信治	
409 同	同	貯蔵食品製造業	在米中	明治43年10月～大正2年10月		小島米吉	水産講習所・製造科・明治41年7月卒
410 英領加奈陀	暹香坡	水産業	山形県水産技師	明治34年8月～37年3月		古川秋柏	水産講習所・明治24年7月卒
411 同	同	同		明治34年5月～38年11月	無補助	吉崎興七郎	
412 同	同	同		明治37年3月～40年3月		阿部松之進	
413 同	同	同		明治38年3月～41年5月	無補助	市原佐太郎	水産講習所・水産教員養成科・明治31年12月卒
414 同	同	茶業	静岡市日本共同製茶株式会社二就職	明治37年7月～40年7月		山田種夫	静岡商業・明治35年
415 同	同	煉乳製造工業	鹿児島高等農林学校教授	明治39年7月～42年6月		米山 豊	札幌農学校・農学士・明治38年7月卒
416 同	同	農業経営並園芸	英領加奈陀在留中	明治41年1月～43年1月	無補助	清水吉次	
417 同	同	牛乳ノ貯蔵及運搬	朝鮮総督府水原勸業模範場技師	明治41年12月～44年12月		菊池爲行	農科実科・明治31年入学
418 墨国	同	絹織物商業	共益商社横浜支店ニ於テ貿易事務ニ従事	明治34年9月～37年8月		市川寛太	
419 同	同	商業	東洋移民合資会社墨国ラス、エスベランサス出張所長	明治34年12月～37年11月		森 醇一	東京外語・西語・明治34年7月卒
420 同	同	同	神戸市苗村徳次郎商店店員	明治37年5月～38年7月	無補助	苗村金五郎 (旧姓:山中)	
421 同	同	絹織物商業	墨国在留中	明治29年12月～34年5月		林 温吉	横浜商業・6期生(明治27年度卒)
422 同	同	絹織物及雜貨業	玖馬ニ於テ雜貨貿易ニ従事	明治37年7月～41年7月		大平慶太郎	神戸商業・明治24年
423 同	同	絹織物業	在里馬帝國領事館通譯生	明治40年2月～43年2月		濱口光雄	東京外語・伊語・明治37年
424 伯刺西爾	リオ、デジャネイロ	同	(備出)	明治37年11月～40年11月	無補助	市川寛太 (再度任命)	
425 同	同	雜貨商業	在伯中	明治43年7月～45年7月		豊島 昌	東京外語・伊語・明治38年7月卒
426 同	同	絹織物及雜貨商業		明治40年3月～43年3月		大平善太郎	東京外語・伊語・明治38年
427 秘露	里馬	雜貨商業		明治34年12月～36年8月		松本賢吉	東京外語・西語・明治34年7月卒
428 同	同	同	死亡	明治34年12月～37年4月		中山九萬	東京専門学校(早大)卒 後、東京外語・西語・明治33年中退

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
429	同	花菱孝親農田及絹織物業	大阪、福島紡績株式会社商務部長	明治38年2月～38年10月		井口格治郎	
430	同	貿易業	在学中	明治42年10月～44年4月		鹽田興兵衛	大阪高商・高等科・明36卒
431	智利	雜貨商業	東洋汽船株式会社神戸出張所員	明治40年7月～43年6月		佐々木綱吉 (旧姓：四枝)	東京外語・西語・明35年7月卒
432	同	同	東京市京橋区、日本貿易会社就職	同		増田耕一	静岡商業・明37卒
433	同	雜貨貿易業		明治40年9月～43年8月		矢島俊央	
434	重留然丁	雜貨業	重留然丁在留中	明治36年12月～38年3月		丸井三次郎	東京外語・西語・明34卒
435	同	同		同		古川大弁	慶應義塾・明治33年1月入学、のち中退か
436	同	同		明治38年4月～39年9月		野村源次郎 (旧姓：森谷)	
437	同	織物業		明治38年10月～39年5月	無補助	高野茂太郎	横浜商業・14期生(明治35年度卒)
438	同	絹物及雜貨業		明治37年10月～40年10月		秦 正雄	東京外語・西語・明37卒
439	同	綿、毛織物及雜貨業	大阪、南米実業協会理事	明治40年7月～41年5月	無補助	丹坂莊太郎	関西学院・中学部・明35卒
440	同	雜貨業		明治38年5月～41年5月		鹽川伊四郎	
441	同	西陣織物輸出業	重留然丁在留中	明治42年11月～44年4月		杉本重三郎	東亜同文書院・政治科・明41年6月卒(5期生)
442	同	絹織物業	同	明治42年3月～45年3月	無補助	松浦直治郎	慶應義塾か
443	同	絹物業	同	明治43年11月～大正2年11月		橋本寛次郎	東京外語・西語・明42卒
合 計 194人							
(4)其他							
444	濠洲	肥料並羊膠製造業	福井県小浜水産学校校長兼教諭	明治34年5月～35年1月		平野茂吉	水産伝習所・製造科・明30年3月卒
445	同	絹物業	神戸兼松商店東京支店員	明治39年6月～42年6月		大澤鯉三郎	東京高商・明34卒
446	同	毛織物工業	三井物産株式会社シドニー出張所員	明治40年12月～43年12月		井島重保	東京工・染織科機械分科・明38年7月卒

練習地	(都市名)	練習科目	現職業	補助費支給年月	補助の有無	氏名	学歴
447	同	メルボルン	絹織物及雑貨業	死亡		佐藤 保	横浜商業・8期生(明治29年度卒)
448	同	同	漆器業	静岡漆器製造株式会社就職		小澤大次郎	静岡商業・明治35卒
449	同	同	雑貨業	在仏領カレドニヤ日本貿易合資会社社員		松本俊造	東京外语・仏語・明治34年7月卒
450	同	同	製糖業	台湾新竹南日本精糖株式会社技師長		佐伯健吉	京都帝大・工科応用化学・明治36卒
451	同	同	同	布哇在留中		興義正榮	農科実科卒
452	米領独領	グラム島、カ ロリナ及マリ ナ群島	貿易業	在濠洲		丸谷未七	横浜商業・中退(病気の ため)
453	南亜弗利加	同	同	死亡		岩崎貫三	横浜商業・15期生(明治36 年度卒)
454	同	同	貿易業	横浜ニ於テ共同ブレット販売商会自営横 浜ブレット株式会社並事務取締役		片桐政治	
合 計 11人							
総 計 454人							

(注)

番号22澤村幸夫：熊本商業学校の同窓会名簿(昭和6年)には澤村幸夫の名は見られないが、萩野脩二「ある「支那通」の軌跡—澤村幸夫について—」『関西大学中国文学会紀要』

15(平成6年)では澤村は熊本商業学校を卒業したとしている。

番号38安東東之助：学歴は日清貿易研究所・東亜同文書院『沿革史』下編(明治41年6月編纂)23-24頁に拠る。南京同文書院は北清事変により上海に移転する。

番号46大庭景秋：『朝日日本歴史人物辞典』(朝日新聞社、平成6年)323頁。

番号90長野實義：前掲、日清貿易研究所・東亜同文書院『沿革史』下編では長野の名は見出せないが、井元正流『種子島人列伝』(南方新社、平成15年)304-305頁に拠った。

番号97と453岩崎貫三：青木澄夫『アフリカに渡った日本人』(時事通信社、1993年)193-199頁。

番号100阿部野利恭：徳永洋著、岩野茂道編『近代熊本の巨人』(熊本学園、平成24年)に拠る。

番号102内田良平：東亜同文会編『続対支回顧録』(原書房、昭和48年)1165-1178頁。

番号103阿部野利恭：『現代実業家大鑑』(御大札記念出版、昭和3年)41頁。『利職農学校一覽』卒業生の欄に名がないので「中退か」としておく。

番号107高木百行：「ポケッタ」(現代実業家大鑑)昭和10年版、11年版【国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可】で警械セメント常務で名が出てくるが学歴記載なし。

番号112大丸謙次郎：『長瀬産業社史』(長瀬産業、昭和47年)40頁に拠る。

番号174長瀬徹次郎：学歴は「長瀬産業社史」(長瀬産業、昭和47年)40頁に拠る。

番号201綾部策雄：補助費支給期間が異常に長いが原史料のママで定める。

番号203阿川彦七(旧姓後藤)：古林亀治郎編『実業家人名辞典』(東京実業通信社、明治44年)に拠る。

- 番号222松田鹿三：中江和恵『尾張藩下級武士家族の近代—松田鹿三とその時代—』（新風舎、平成18年）に拠る。
- 番号225今井源四郎：議会政治社編『軍国日本人物大鑑』（議会政治社、昭和11年）156頁に拠る。
- 番号237野村彦太郎：長谷川仁「明治以降物故昆虫学者関係者経歴資料集」『昆蟲』35（3号補遺、昭和42年）【国会図書館デジタルコレクションで閲覧可】66頁。
- 番号253古谷竹之郎：松下長重編『東洋成功軌範』校定（中央教育社、明治44年）【国会図書館デジタルコレクションで閲覧可】261頁。
- 番号259瀧藤治三郎：『名古屋商工会議所議員名鑑』（総合経済研究所、昭和12年版）27頁。
- 番号267星一：星新一『明治・父・アメリカ』（新潮文庫、昭和53年）に拠る。
- 番号279本間啓太郎：中西利八編『昭和4年版 財界人物連集』（財界人物選集刊行会、昭和4年）に拠る。
- 番号281善積武太郎：善積武太郎『私の歩んだ道』（善積武太郎商店、昭和37年）に拠る。
- 番号282三瓶勇佐：石和田八郎『大日本重役大観』（東京毎日新聞社編集部、大正7年）294頁に拠る。
- 番号300渡邊淳：前掲、三井物産「店別使用人録（大正5年）」に拠る。
- 番号334坂田武雄：サカタのタネ HP「サカタのタネ歴史物語」に拠る。
- 番号339塚越卯太郎：前掲『現代実業家大観』に拠る。
- 番号340永井威三郎：『20世紀日本人名辞典』（日外アソシエーツ、平成16年）に拠る。
- 番号355高野新一：伊藤一監編『日本石油史』（日本石油株式会社、大正5年）に拠る。

海外実業練習生採用規程

一 海外実業練習生ハ左ノ要件ヲ具備シ志望確實ナル者ヨリ之ヲ採用ス

(一) 中学卒業若クハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スルコト

(二) 練習セント欲スル実業上ニ一箇年以上ノ経歴ヲ有スルコト

但シ技術練習ノ場合ハ此限ニ在ラス

—【欄外】(註) 技術練習ノ場合 —————

渡航ノ上技術ノ練習ヲ遂ケムトスル者ノ志願ノ場合ニシテ即在学中諸科目ニ就キ実習セル実業専門学校其他之ト同等以上ノ学校卒業者ニ対シ適用スルトキ

(三) 練習目的地ノ語学ニ通スルコト

—【欄外】(註) 練習目的地ノ語学ニ通セストモ可ナル場合 —————

練習科目ノ種類ニ依リ該練習地ニ於ケル通用語以外ノ他國語ヲ代用スルモ練習上差支ナシト認メタルトキ

(四) 練習事業ノ遂行ニ必要ナル相当ノ資本若クハ資本金ノ援助ヲ有スルコト

但シ本項中三号、四号ニ付テハ其練習地又ハ練習科目ニ依リ之ヲ必要トセサルコトアルヘシ

—【欄外】(註) 練習事業ノ遂行ニ必要ナル相当ノ資本若クハ資 ————

本金ノ援助ヲ有セストモ可ナル場合

練習科目ノ種類ニ依リ自資若クハ資本金ノ援助ヲ要セスシテ該事業ヲ遂行シ得ヘシト認メタルトキ

一 外国ニ於ケル工場若クハ商店ニ入り練習スル場合ニ於テハ其工場若クハ商店ノ練習承諾書又ハ内外有力者ノ練習地工場若クハ商店ニ対スル確實ナル推薦状ヲ提出セシムルモノトス

一 練習生採用ハ毎年一月、二月、四月、七月及十月ノ五期トス (但シ当分ノ開探

八月又ハ九月トス)

一 練習生ノ任期ハ三箇年トス但シ必要ニ応シ相当ノ期限ヲ延長スルコトアル

ヘシ

一練習生ニ支給スヘキ補助費月額ハ左ノ標準ニ拠ル

但シ練習成績特ニ良好ナルカ又ハ格別ノ必要アリト認メタルトキハ補助
費月額ノ三割迄ヲ増加スルコトヲ得

一支 那 参拾円以内

一印度及南洋地方 四拾五円以内

— 欧羅巴各国及南亜弗利加
中、南部米国、豪洲地方 六拾円以内

一北米合衆国 七拾円以内

一練習補助費ノ支給ハ本邦出發ノ日ヨリ起算シ向フ三箇年トシ継続支給ハ毎
年度ノ初メニ於テ之ヲ決定ス

但シ補助期間滿了前ニ於テ辞任又ハ練習ヲ了シ帰朝シタルモノハ練習地
出發ノ日ヨリ、罷免又ハ外国ニ在リテハ辞任ノ場合ニ於テハ辞令發布ノ
日ヨリ支給ヲ廃止ス

一練習補助費ハ六箇月以内ノ支給額ヲ前金渡ト為スコトヲ得

一旅費補助費ハ往路ニ限り外国旅費規則第二号表二等船舶料及汽車料ノ三分
ノ二以内ノ標準ニ拠リ支給スルコトヲ得

但シ本文ニ依リ難キトキハ汽車汽船ノ二等定額ノ三分ノ二以内ノ実費ヲ
支給スルモノトス

(練習生志願書様式)

海外実業練習費補助願

私 儀

今般何々業練習ノ為メ何国何地へ渡航致度候ニ付右練習費及旅費御補助被成
下度御規則命令等堅ク遵守可仕身元引受人連署ヲ以テ此段奉願候也

大正 年 月 日

族籍及現住所

願 人 何 某 (片仮名ヲ以テ傍
調ヲ附スベシ) ㊦

族籍及現住所
身元引受人 何 某 ㊦
族籍及現住所
推 薦 人 何 某 ㊦

農商務大臣宛

(添付書類)

- 一履歴書 (学業履歴、実業履歴)
 - 一医師証明書 (身体ノ健康ヲ証明スルコト)
 - 身元引受人ハ丁年以上ノ男子ニシテ一家計を立ツル者ニ限ル(郡、区、市長村
長ノ証明ヲ要ス)
- (備考)
- 練習生志願書ハ隨時提出スルコトヲ得

末尾枠外に「農商務省商工局」

(資料紹介者は関西学院大学商学部教授)